

田原小学校創立 150 周年記念式典あいさつ

校庭や山々の木々も色付き始め、町内では古老柿作りの柿屋も建ち並び秋真っ盛りのこのよき日に、宇治田原町長 西谷信夫 様、宇治田原町議会議長 浅田晃弘 様、副議長 山内実貴子 様、宇治田原町教育委員会教育長 奥村博己 様を初め、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに本校創立 150 周年記念式典を挙行できますことは、大変感慨深く、また、大きな喜びでございます。

高い席からではございますが、学校を代表いたしまして、厚く御礼申しあげます。ありがとうございます。

150 年の歴史を振り返ってみますと、本校は、明治 6 年 (1873) 年 9 月 23 日に維孝館 荒木小学校として荒木地区で創立され、20 年後の明治 26 年に現在と同じこの郷之口地区に移転し、田原尋常小学校と改称されました。

戦時中の昭和 16 年には、維孝国民学校と改称され、戦後の昭和 22 年に現在と同じ田原小学校という名前に改称されました。

昭和 31 年に宇治田原町が発足し、50 年前の昭和 48 年には創立 100 周年記念式典が開催されました。

平成 4 年には現在の校舎が、平成 11 年には現在の体育館が建てられ、今とほぼ同じ校舎配置となりました。

明治、大正、昭和、平成、令和にわたるこの 150 年間、戦争による戦禍や 75 年前の 8 月に起きた南山城大水害では、本校の校区も大きな被害を受けました。他にも大正時代のスペイン風邪の大流行、令和に入ってからにはコロナウイルス感染症の拡大など多くの自然災害や感染症の流行に見舞われました。このような苦難に見舞われた時にも、そのたびごとに諸先輩方や地域の方々が、

新しい工夫や改善策を考え、力を合わせて乗り越えてこられたことで、今の私たちの生活が成り立っていることに感謝しています。

さて、児童の皆さん、150年間という長い学校の歴史でずっと受け継がれ、変わらないものが3つあります。わかりますか？

1つは維孝館門です。150年前に維孝館荒木小学校が建てられたときに作られ、今の場所に学校が移った時に、門も移されました。

今、毎日、みなさんが登下校の時に通っている維孝館門を150年前も100年前も子ども達が通って登校していました。5, 60年前にはみなさんのおじいちゃん、おばあちゃんが、30年くらい前にはお父さんやお母さんが通っていたという人もいます。

本校の卒業生の数は、150年中、136年間分の記録が残っていて、8242人おられます。1日200人が1年間に200日通ったとすれば、150年間で600万人が通ったことになります。実際はもっと多いかもしれません。150年間ずっと子どもたちの嬉しいこと、悲しいこと、頑張ったこと、楽しかったことを全部見ているのが維孝館門です。みなさんが大人になり、170周年や200周年の日が来ても維孝館門がその時の子どもたちを見守ってくればとても素敵なことだなと思います。

維孝館門に限らず、こうした昔から続いている歴史や伝統をこれからもみんなで大切に守っていけたら素晴らしいなと思います。

150年間、変わらないものの2つ目は、みなさんを包み込んでくれている地域の方々の温かく優しい支えです。雨の日も暑い日

も寒い日も毎日、見守り安全パトロール隊や安全巡視員の方々が登下校の安全を支えてくださっています。読み聞かせ隊を初め多くのボランティアの方々や地域の方々が、読み聞かせ、お茶つき、製茶、茶道クラブ、古老柿づくり、田原祭りなどについて授業や体験活動をしてくださいます。役場や警察、消防、近くのお店のの方々もみなさんの授業や行事に協力してくださいます。

こうしたことは、150年間、その時代の地域の方々が子どもたちみんなの成長を願い、形を変えながらずっと続けていただいている活動です。そのことに感謝の思いを持ち、10年後、20年後、50年後とみなさんが大人になった時に、その時の子どもたちのために何かできることをしてくれれば、バトンが受け継がれることになり、素晴らしいなと思っています。

150年間変わらないものの3つ目は、子どもたちが学校で学んだことが、30年後、40年後の未来の社会を切り拓き、支えていくということです。

今年の学校教育目標も、「人を大切に つながり 力をつくす 未来を生き抜く田原っ子」としています。

いつの時代の子どもたちも喜び、楽しみ、考え、工夫し、時には悩み、苦しみなながらも学びを止めずに、努力を積み重ねてきました。

学校で学んだことが未来の社会の発展につながり、一人一人の幸せで豊かな人生につながってくれば素晴らしいと思います。

みなさんの頑張りは、未来の社会を支える力になるだけでなく、一生懸命頑張っている姿や笑顔は、私たち大人にとっても励みになり、元気が出たり勇気づけられたりする素晴らしいものです。先日の運動会で、みなさんの団体演技を見て、強くそう思いました。

3つの変わらないものの話をしましたが、本日は、みなさん一人一人が創立150周年の記念の年をしっかりと心に刻み、これまでの時代をつないでいただいた皆様に感謝し、心を受け継ぎ、これからの未来をより良い時代に切り開いていこうという誓いをする場でもあります。

10年後、20年後、さらに50年後には社会の中心として活躍しながら「田原小学校で学べたことは私たちの誇りです。」と胸を張って言える人になってくれることを心から願っています。

結びにあたり、本校教育の推進にご支援、ご協力を賜りました、宇治田原町並びに町教育委員会の皆様、町議会の皆様、そして、歴代の教職員・卒業生・保護者の皆様、地域の皆様方に、改めて心より御礼申し上げます。

教職員、児童一同、更に大きく飛躍し、本校の発展に邁進することをここにお誓いし、私からの挨拶とさせていただきます。

令和5年11月10日 田原小学校 校長 細矢 和彦